



株主のみなさまへ

持株会社体制への 移行について

目次

1	持株会社体制への移行の理由・目的	1
2	理念体系	3
3	持株会社の概要	4
4	グループストラクチャー（体制移行の流れ）	5
5	ガバナンス体制	6
6	ビジネスモデル	7
7	持株会社体制移行後に目指すシナジー効果	9
8	今後の予定	10
9	体制移行に関するQ&A	11

1 持株会社体制への移行の理由・目的

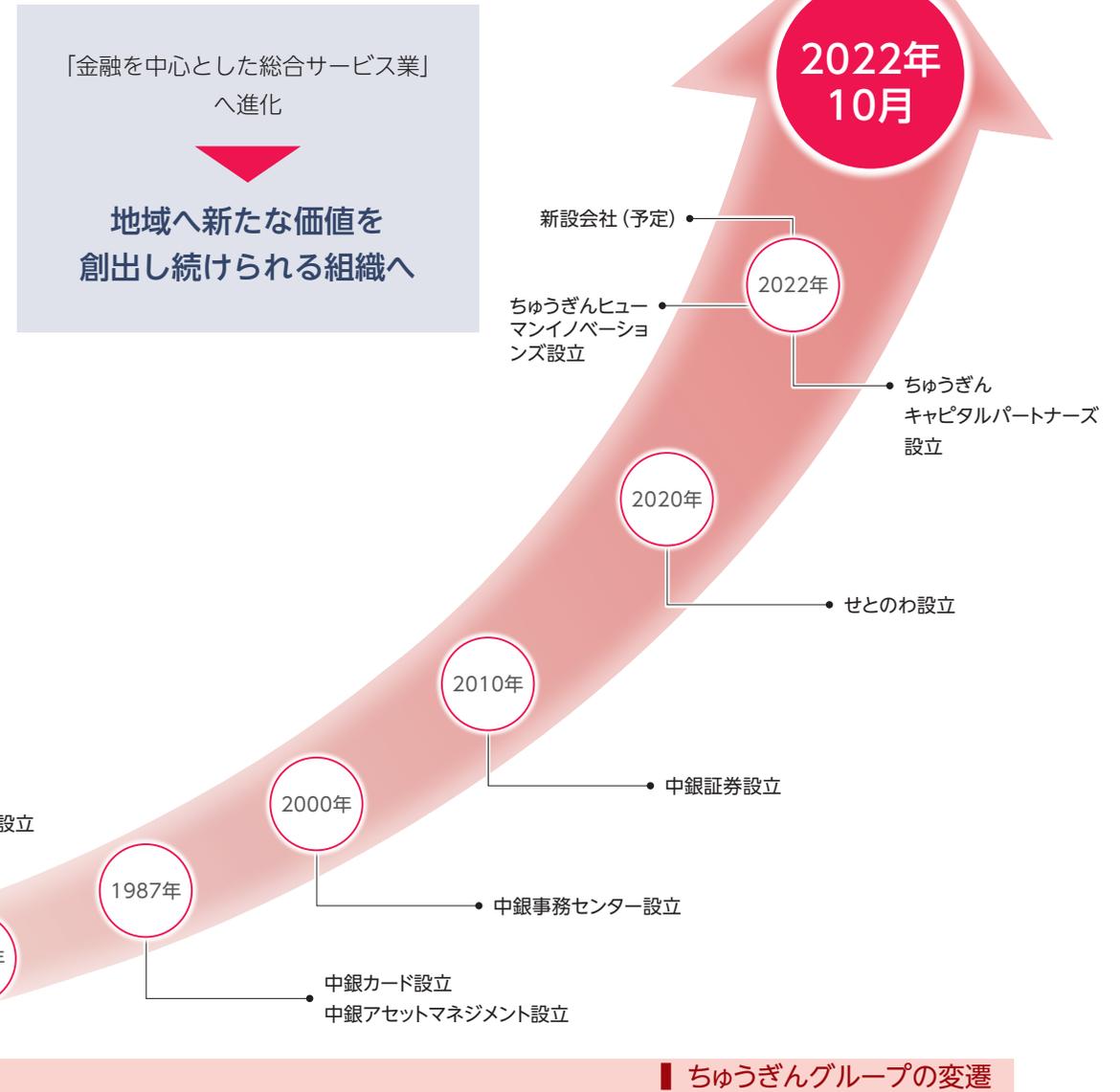
地域社会・お客さまと相互に発展する持続可能なビジネスモデルの構築を目指し、10年戦略の実現に向けたフレームワークをより高い次元で実践し続けるため持株会社体制に移行します。

当行は、「自主健全経営を貫き、揺るぎない信頼と卓越した総合金融サービスで、地域社会とともに発展する」という経営理念を掲げ、これまでお客さまのニーズに的確に対応できる健全な企業文化の醸成を図り、地域社会の発展に向けた活動を展開してまいりました。

一方で、昨今の地域社会を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化等の社会構造の変化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大やそれを契機としたデジタル化の進展、また、地球温暖化に対する脱炭素に向けた世界的な取組みの加速など、様々な社会課題とともに急速な変化を遂げております。このような環境下で、個人の生活様式や企業の事業活動も大きく変容するとともに、地域社会やお客さまが抱える課題は多様化・複雑化し、地域金融機関が果たすべき役割も大きく変化していくものと考えております。

こうした経営環境のなか、当行グループが地域社会の持続的な発展に貢献するために、これまで以上に「業務軸の拡大」によりサービスメニューを充実させ、それらを提供し続けられるための「経営資源の適正配分」を実践し、「グループガバナンスの進化」を追求し続けられる組織体制として、持株会社体制に移行することを決定いたしました。また、グループとしての一体性を醸成するため、上記経営理念に代えて長期経営計画で定めた長期ビジョン「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」を新たにグループ経営理念として制定しております。新たな経営理念の下、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、**地域社会・お客さまと相互に発展する持続可能なビジネスモデル**を確立し、**金融を中心とした総合サービス業**へ進化することによって、企業価値の向上に努めてまいります。

持株会社体制へ

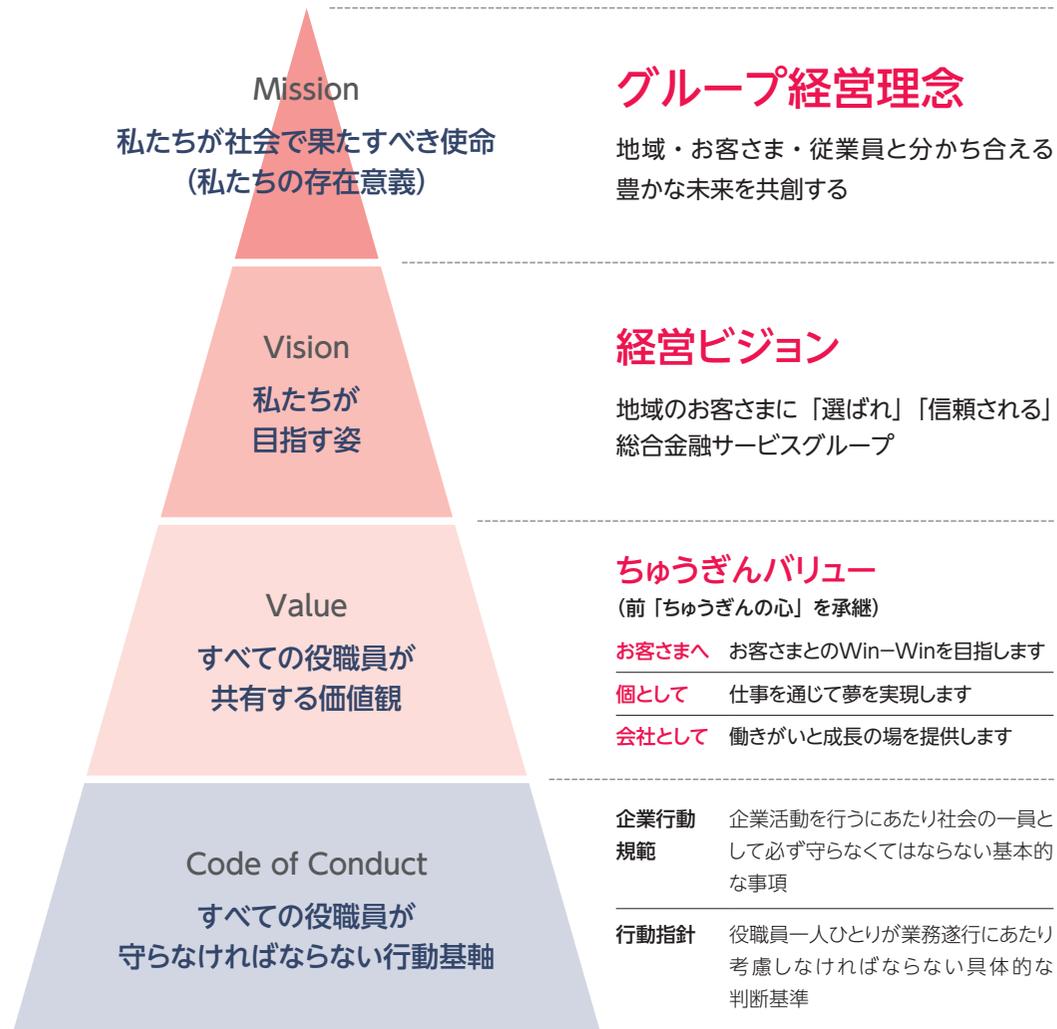


※新設会社は、持株会社設立前に関係当局の許認可等を前提に設立する予定

ちゅうぎんグループの変遷

2 理念体系

経営理念は私たち**ちゅうぎんグループ**が果たすべき使命を真に示すものとして、長期経営計画「Vision2027 未来共創プラン」で定めた長期ビジョンのフレーズを**グループ経営理念**としています。理念体系は経営理念のほか、目指す姿である**経営ビジョン**、すべての役職員が共有する価値観である**ちゅうぎんバリュー**で構成しています。



3 持株会社の概要

株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ CHUGIN FINANCIAL GROUP, INC.

グループ全体でこれまで築き上げてきたブランドである「**ちゅうぎん**」を冠することで、当行グループの持株会社であることを明確化し、長年培ってきた金融を中心としながら、これからも地域社会・お客さまとともに発展していきたいという想いを込めています。

本店所在地	岡山市北区丸の内1丁目15番20号
代表者	取締役社長（代表取締役）加藤 貞則 [現 中国銀行 取締役頭取]
事業内容	1. 銀行その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに附带関連する一切の業務 2. 前号の業務のほか銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務
資本金	160億円
設立日	2022年10月3日
決算日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
単元株式数	100株

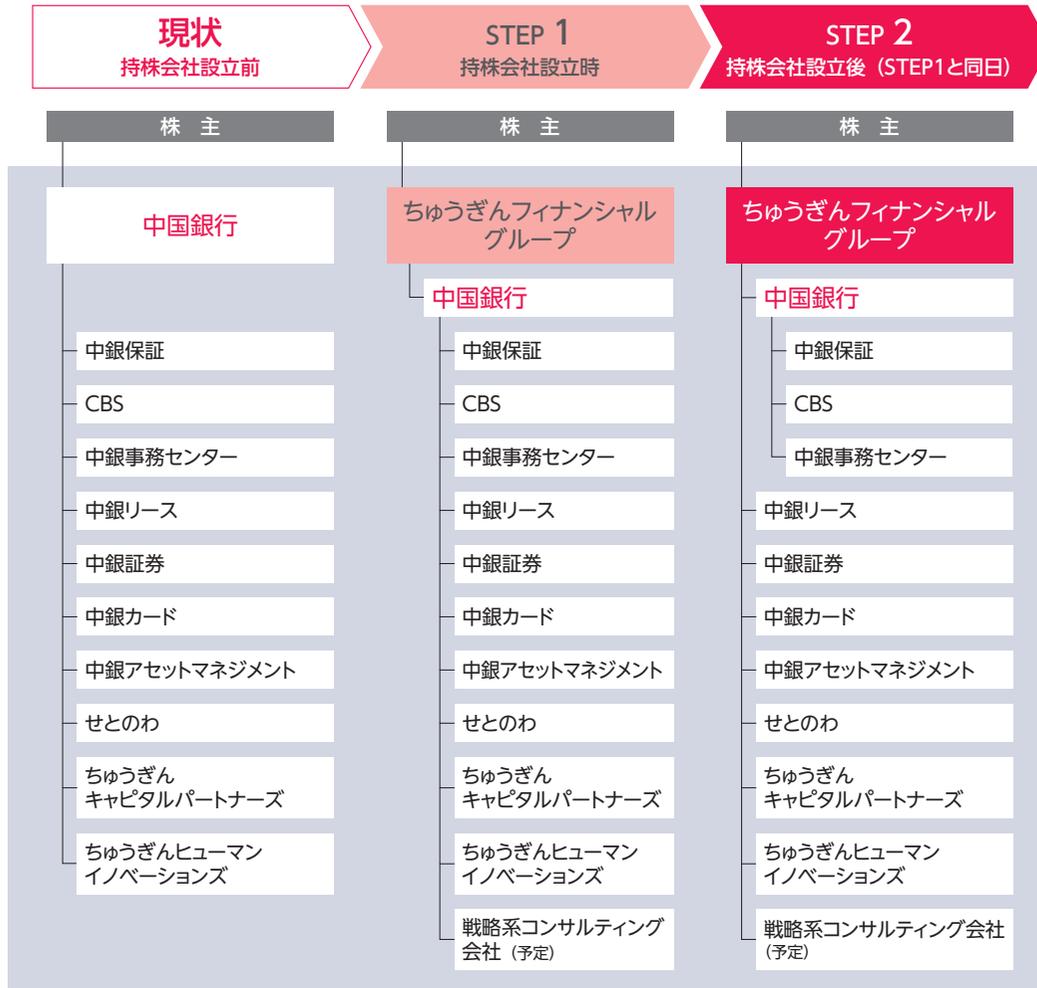
4 グループストラクチャー（体制移行の流れ）

STEP 1

2022年10月3日を効力発生日として、当行単独による株式移転により持株会社を設立することで当行は持株会社の完全子会社となります。

STEP 2

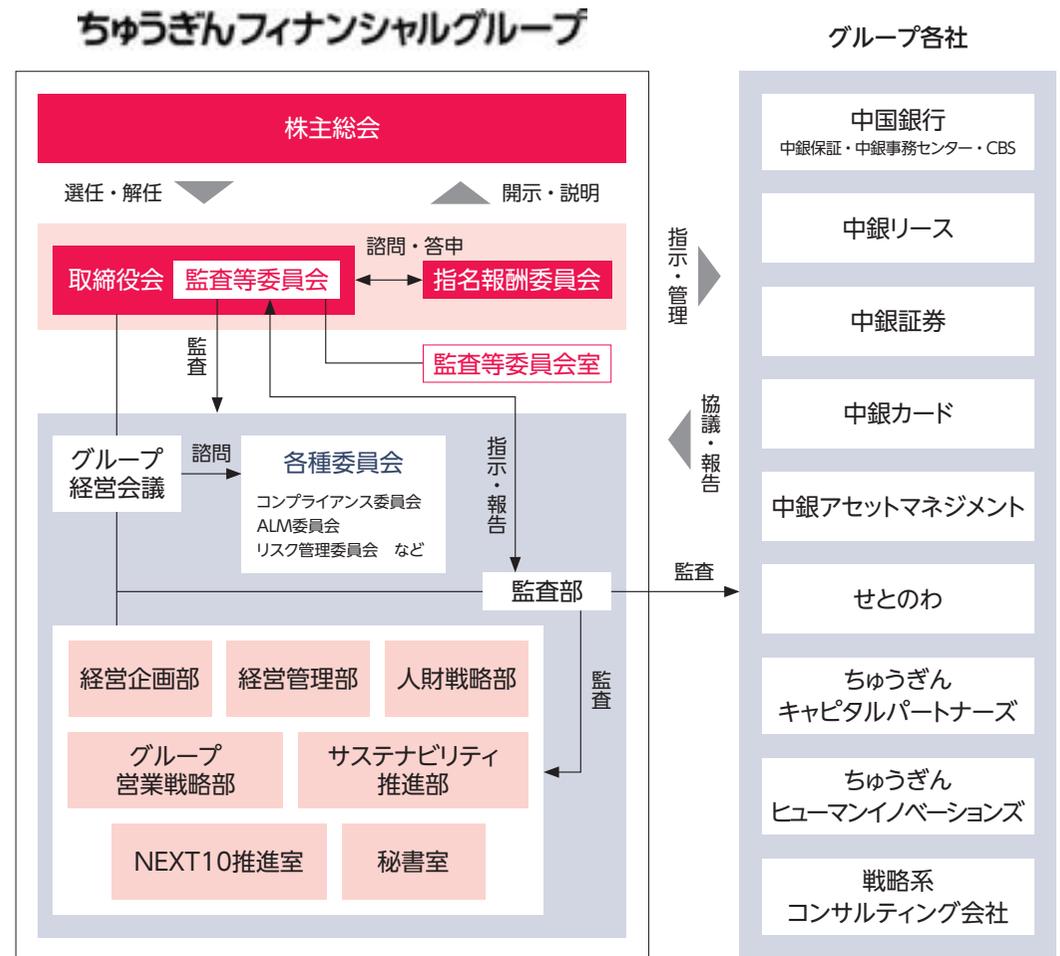
持株会社設立後に「中銀リース」「中銀証券」「中銀カード」「中銀アセットマネジメント」「せとのわ」「ちゅうぎんキャピタルパートナーズ」「ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ」「戦略系コンサルティング会社」の計8社について持株会社の直接出資会社として再編する予定です。



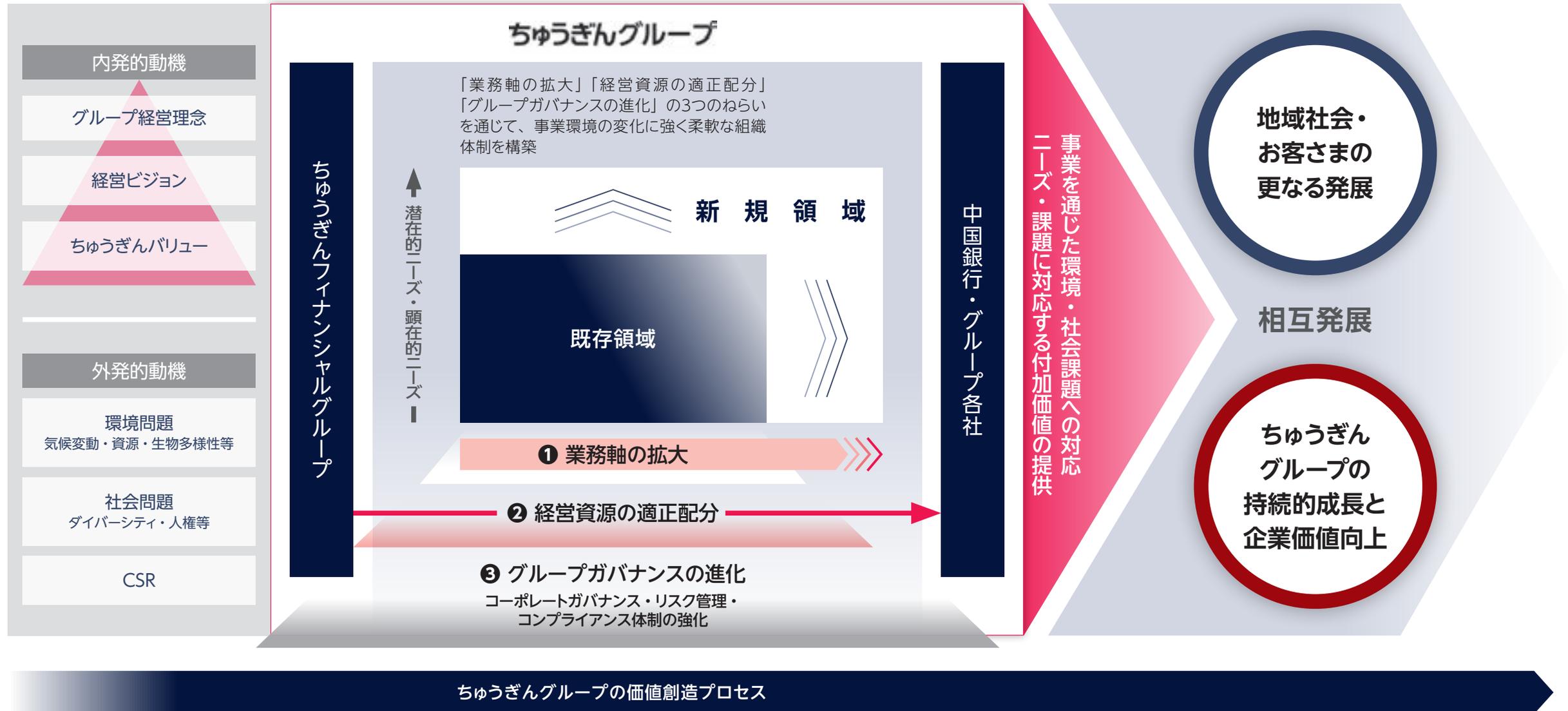
※「戦略系コンサルティング会社」は、持株会社設立前に関係当局の許認可等を前提に設立する予定

5 ガバナンス体制

- 持株会社を監査等委員会設置会社とし、取締役会は執行と監督の分離を図ることで、グループガバナンスの進化を図ります。また、グループ各社への権限委譲を進めることで、迅速な意思決定と効率的な業務運営態勢を構築します。
- 各グループ会社は、持株会社によるグループ全体の経営方針等に基づき、具体的な計画や施策を自社で企画・推進することで組織としての自律性を高めてまいります。

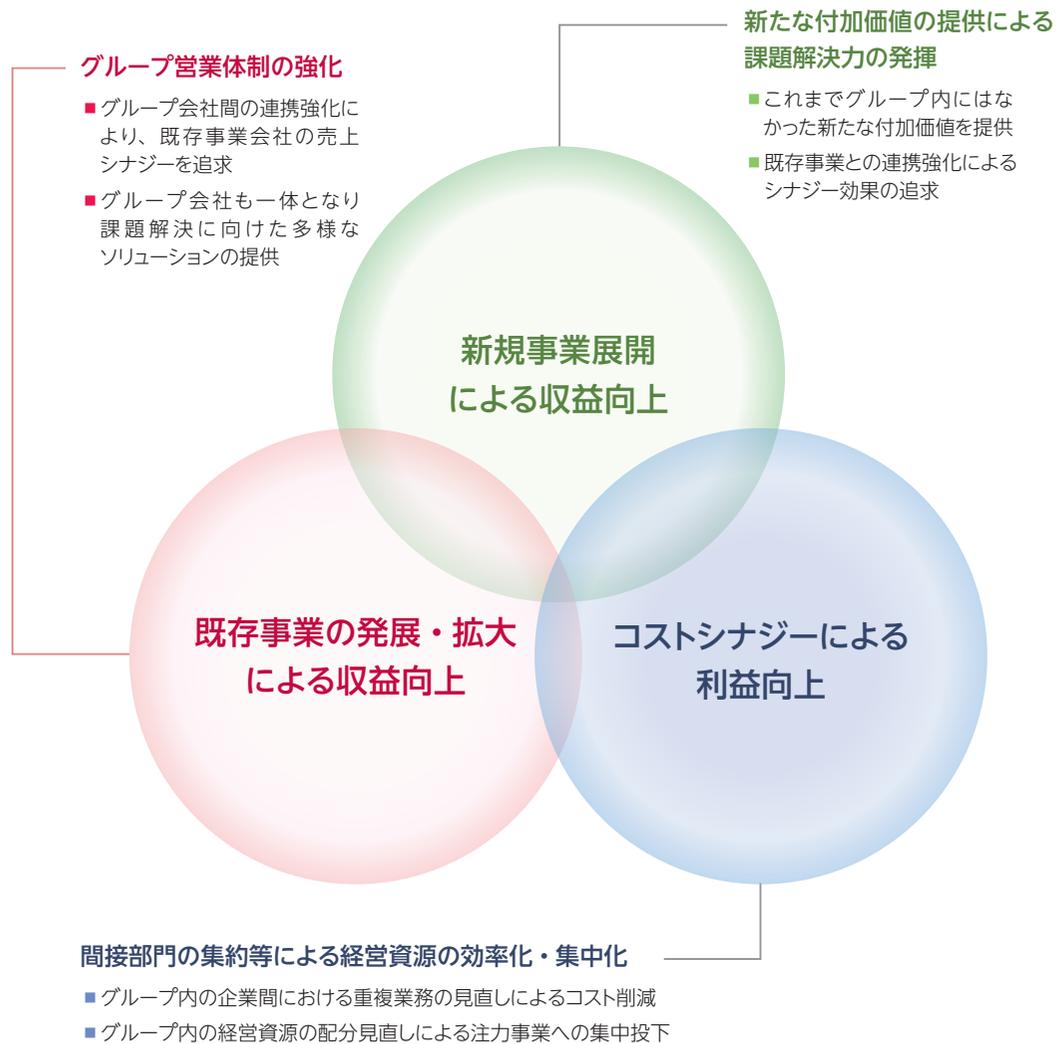


お客さまの多様なニーズや社会課題にグループ全体で寄り添いソリューションの提供を行い、地域社会・お客さまの更なる発展と、ちゅうぎんグループの持続的成長および企業価値向上の両立を図ります。



7 持株会社体制移行後に目指すシナジー効果

ちゅうぎんグループは、「業務軸の拡大」「経営資源の適正配分」「グループガバナンスの進化」を成長ドライバーとするグループ一体運営の強化により、グループシナジーを最大化し金融を中心とした総合サービス業を目指します。



8 今後の予定

ちゅうぎんフィナンシャルグループは当行の株主総会の承認および関係当局の認可等が得られることを前提として2022年10月3日（月）に設立し、同日東京証券取引所プライム市場に上場する予定です。

年	月日	スケジュール
2022年	6月3日（金）	■ 株主総会招集通知送付
	6月24日（金）	■ 株主総会にて株式移転計画承認決議
	9月29日（木）	■ 当行株式上場廃止
	10月3日（月）	■ 持株会社設立 ■ 持株会社株式上場

